

第3回和泉市総合計画審議会における意見を踏まえた検討事項

第4回 資料1-1

NO	区分	頁	箇所	内容	事務局 対応方針
1	重点1章	56	第1章第5節 【現状と課題】 4. 求められる移動手段の確保	<p>・【現状と課題】で、「高齢者」の移動手段を確保する旨の修正をしたことに伴い、重点施策16の具体的な取組みにも、「高齢者」を支援する旨の記載をするべきか検討いただきたい。</p> <p>〈参考：現状と課題における修正後の記載内容〉 ○高齢・人口減少社会の進展に伴い、公共交通空白地域の拡大が全国的な問題となっており、高齢者をはじめとした地域住民の日常生活を支える移動手段の確保が求められています。</p>	<p>・現状としては、高齢者の方が公共交通を利用している実態が多いため、【現状と課題】を修正し、高齢者支援を含むことを表現しましたが、重点施策16に位置づける具体的な市の移動手段の確保策については、市民全般を対象としております。</p> <p>・そのため、具体的な取組みでは、「市民の移動手段を確保し、…」としていたところですが、【現状と課題】で記載した「高齢者をはじめとした地域住民」とのつながりを示すよう、「市民」を「地域住民」に修正します。</p> <p>修正箇所：【第4回 資料1-2】P60</p>
2	重点1章	56	第1章第5節 【現状と課題】 4. 求められる移動手段の確保	<p>・市内の公共交通空白地域の解消のため、コミュニティバスやオレンジバスを運行するなどしていますが、和泉市であるものの泉大津市や高石市の市域に位置する、いわゆる「飛び地」における移動手段の確保も必要である。</p> <p>・助松団地などの「飛び地」における移動手段について、検討していることがあれば示していただきたい。</p>	<p>立地適正化計画や地域公共交通網形成計画等を踏まえ、飛び地を含めた公共交通不便地域における地域住民の生活維持に必要な公共交通のあり方について、検討してまいります。</p>
3	重点3章	89	重点施策28 (具体的な取組み) 災害情報伝達力の強化	<p>・「情報伝達力の強化」という表現が分かりにくいと感じる。</p> <p>・例えば、「伝達力」を「手段」とするなど、より適切な表現について検討いただきたい。</p>	<p>・ご指摘の趣旨を踏まえ、表現を修正します。</p> <p>修正箇所：【第4回 資料1-2】 P89</p>
4	重点5章	107	重点施策35 (具体的な取組み) 健全財政の確保	<p>・利用していない市有地の情報が分からず、市有地売却の募集期間も短いので、事業者が売却予定地の利用計画を立てづらい。</p> <p>・売却予定地マップを公開するなど、市有不動産情報に関して、分かりやすい情報発信が重要であるので、検討いただきたい。</p>	<p>・昨年度から市有地売却の公募期間を2週間から1ヶ月に延長するなどの改善を行いました。</p> <p>・今後は、売却予定の未利用地の情報について、条件が整った段階で公表するなど、分かりやすい情報発信に努めたいと考えています。</p>
5	重点5章	107	重点施策35 (具体的な取組み) 和泉シティプロモーション事業の推進	<p>・「市政情報の発信力の強化に取り組みます」という記載について、「市政情報」という表現では、市の事業内容やイベントなど「市が有する情報」だけを連想し、「民間企業が有する観光施設の情報」などが含まれないように感じる。</p> <p>・それらの情報も含めて、市の魅力を市内外に向けて発信する必要があるため、適切な表現を検討いただきたい。</p>	<p>・ご指摘の趣旨を踏まえ、表現を修正します。</p> <p>修正箇所：【第4回 資料1-2】 P108</p>